

決算説明会資料 平成20年3月期 中間期

開催日：2007年11月16日（金曜日）

証券コード：3753

株式会社フライトシステムコンサルティング



1. 平成20年3月期中間期 業績概況

1-1. 連結業績ハイライト



連結経営成績

(単位:百万円)

決算期	平成19年3月期 中間期	平成20年3月期 中間期	増収額	増収率
売上高	1,146	1,560	414	36.2%
売上総利益	288	366	77	26.8%
営業利益	△195	△42	153	—
経常利益	△217	△56	160	—
当期純利益	△287	△55	232	—

セグメント別成績

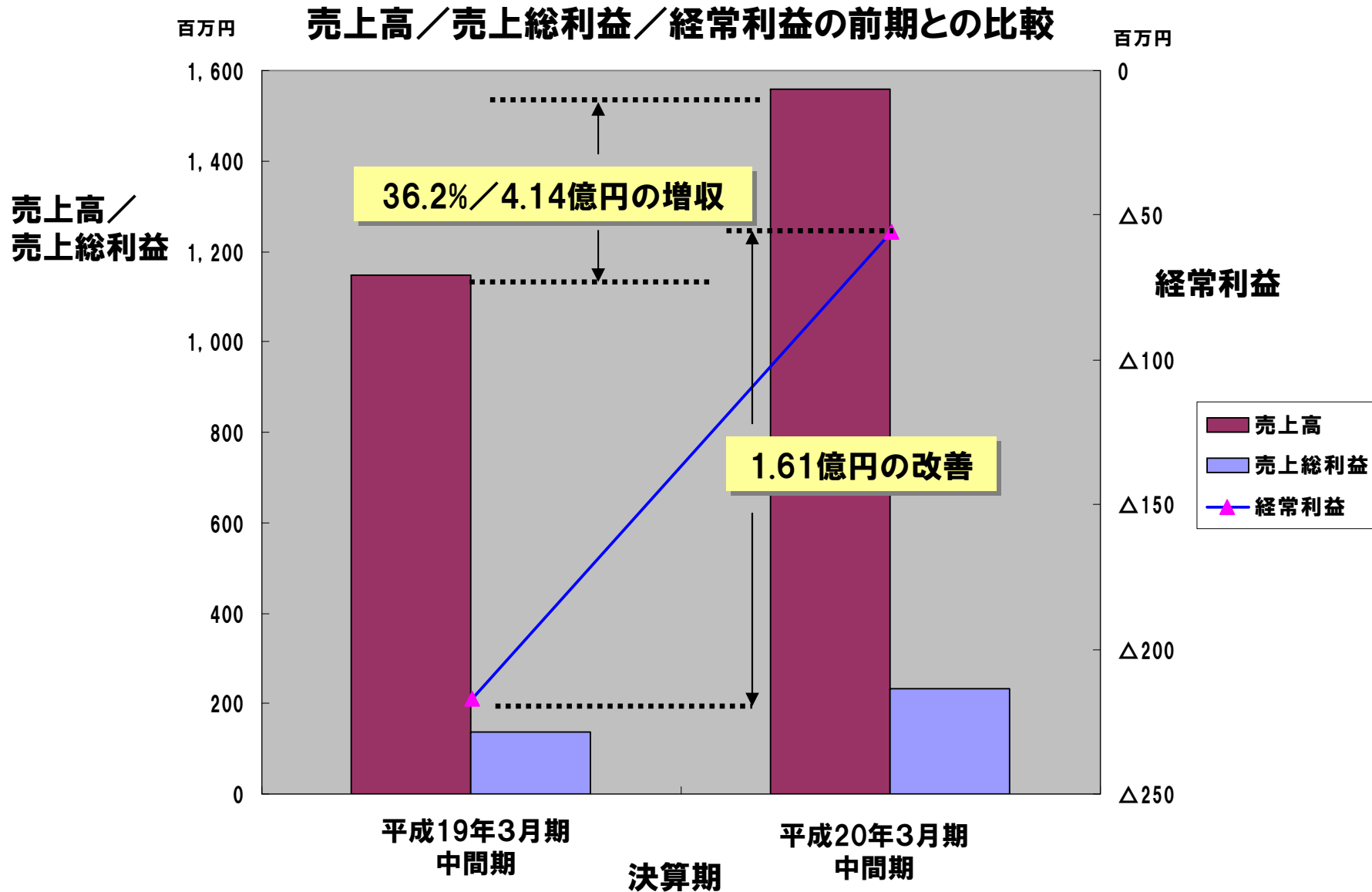
(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	平成19年3月期 中間期	平成20年3月期 中間期	増収額	平成19年3月期 中間期	平成20年3月期 中間期	増益額
システムコンサルティング事業	284	545	261	△14	68	82
システムインテグレーション事業	266	408	142	51	80	29
放送・映像システム開発・製造・販売事業	477	412	△65	△80	△65	15
放送・映像システム保守事業	201	341	140	8	24	16

※ 平成19年3月期実績につきましては、セグメントがメディアソリューション事業とシステムインテグレーション事業の2つでしたが、より事業の実体に即して解りやすくするため「システムコンサルティング事業」、「システムインテグレーション事業」、「放送・映像システム開発・製造・販売事業」、「放送・映像システム保守事業」の4つに分けました。

～ 前期からの大きな前進！ (1) ～

36.1% / 4.14億円の増収

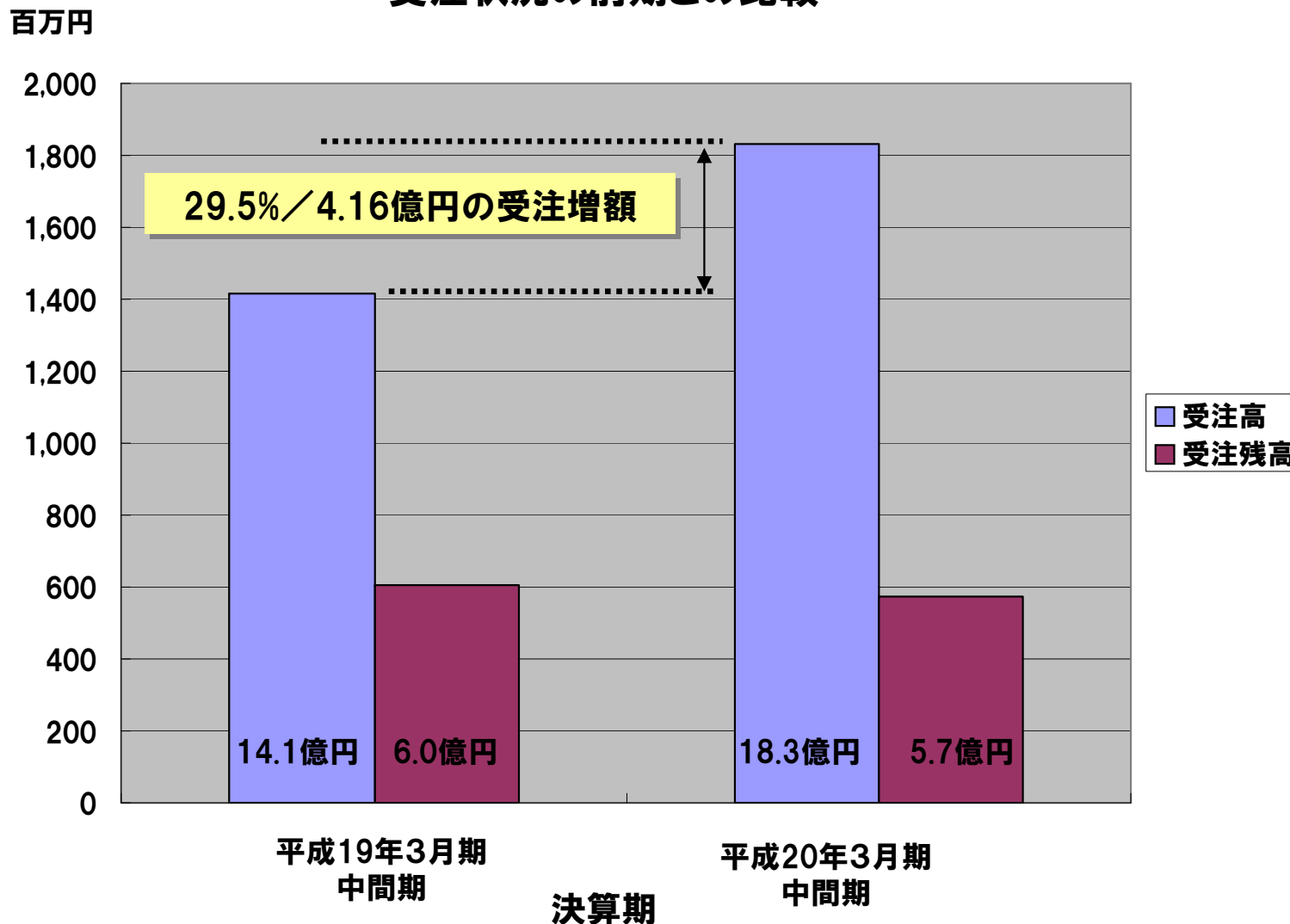


～ 前期からの大きな前進！ (2) ～

29.5% / 4.16億円の受注増額！



受注状況の前期との比較



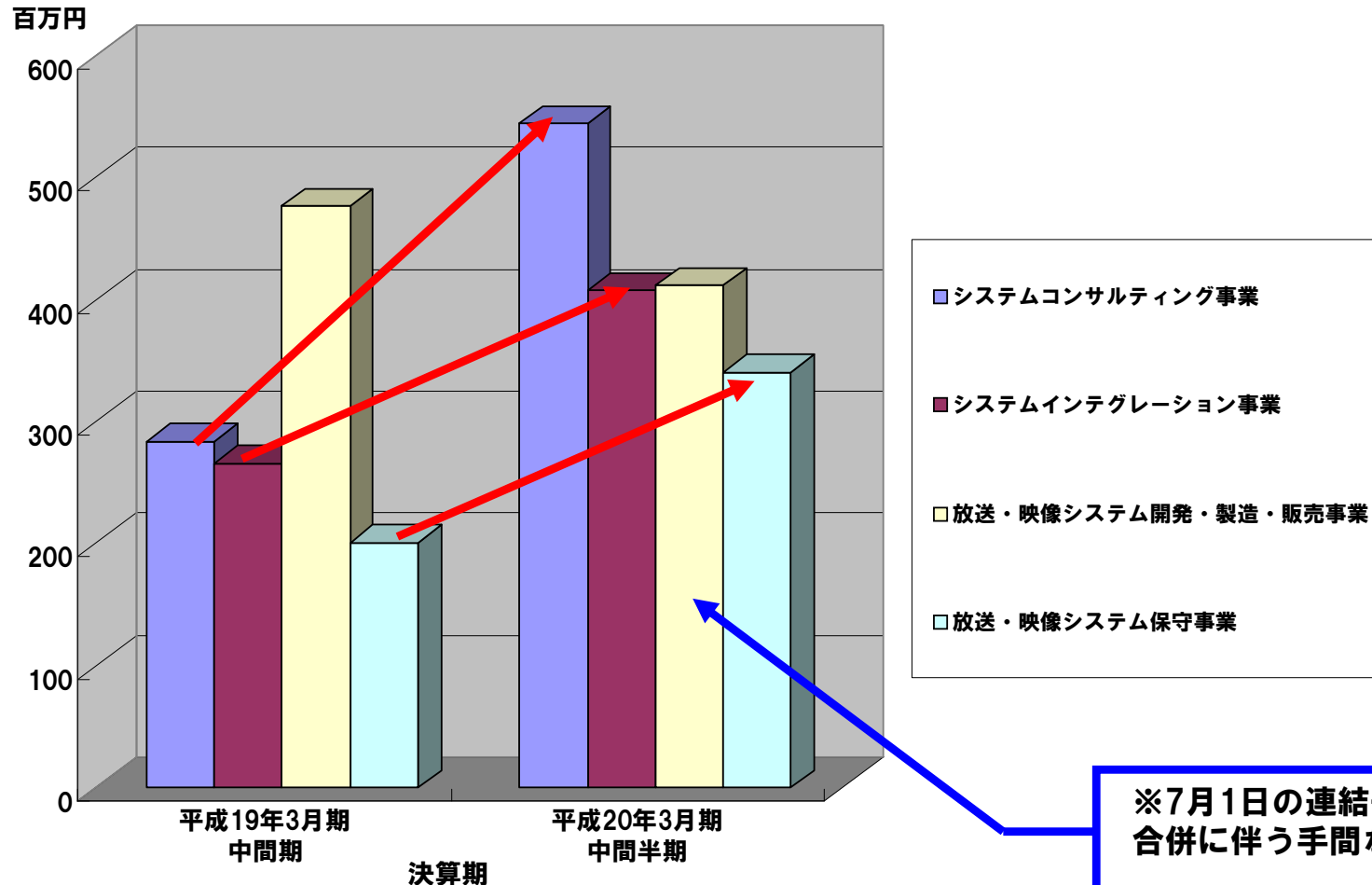
～ 前期からの大きな前進！ ～

4セグメント中、3セグメントが大きく増収に！



連結経営の実質2期目。コンサルティング・システムインテグレーション・保守の各事業で、大幅な増収となり、業績は堅調に伸びています。

セグメント別の売上・前期比較



※7月1日の連結子会社2社の合併に伴う手間などの影響。

1-2. 連結業績概況 ～ 総括 ～



- 当中間連結会計期間は、2006年1月に株式を取得した子会社3社が加わった連結経営の実質的な2期目。
- 前年同期と比較し受注状況は活況であり、収益面でも前期と比較し大きく改善！
- 前年同期と比較し、
 - 売上 : 36.2%の増収
 - 売上総利益: 288百万円から366百万円へと26.8%の増加
 - 経常損失: 217百万円から56百万円と161百万円も改善

されており、売上が年度末に集中しがちで上半期には売上が上がりにくい当社グループの特性の中では、十分な実績をあげることができました。

連結業績概況 ～ セグメント別 ～



■ システムコンサルティング事業

- 売上高で前年同期比で91.9%増収の545百万円(前年同期比261百万円の増収)、営業利益で68百万円(前年同期比83百万円の増益)を達成。
- 大型コンサルティング案件が増収をもたらす。
- また、個々のプロジェクトが当中間会計期間は順調に進捗し、前期に発生したプロジェクト管理上の課題を解決できたことが増収の大きな要因！

■ システムインテグレーション事業

- 売上高で前期比53.7%増収の408百万円(前年同期比142百万円の増収)、営業利益で80百万円(前年同期比29百万円の増益)を達成
- 従来からの好調な受注に加え、電子政府系案件を中心にシステムコンサルティング事業と協調した開発案件が獲得できたことが、さらなる増収の要因に。

■ 放送・映像システム開発・製造・販売事業

- **大手メーカー向けOEM製品の出荷が8月からである事、またこのセグメントを構成する連結子会社2社が平成19年7月1日付けで合併した事に伴う準備、さらに事業の整理統合を行ったことにより、売上高で前期比13.7%減収の412百万円、営業損失で65百万円(前年同期比15百万円の増益)となりました。**

■ 放送・映像システム保守事業

- **昨年12月に同業他社から事業譲渡を受けた効果もあり、売上高で前期比70.0%増収の341百万円、営業利益で24百万円(前年同期比15百万円の増収)を達成！**

2. フライトグループとは

2-1. 事業セグメント



システムコンサルティング事業



株式会社フライトシステム
コンサルティング

映像・音楽等のデジタルコンテンツの管理や配信に関するコンサルティング、システム設計、開発、導入、保守。官公庁様および自治体様向けのコンサルティング。

システムインテグレーション事業



株式会社フライトシステム
コンサルティング

一般企業様向けオープン系システムによる高可用性システムの受託開発。官公庁様および自治体様向けのシステム設計、開発、導入、保守。

放送・映像機器等の開発、製造、販売



株式会社山下電子設計



エレテックス株式会社

2007年7月1日 合併

放送・映像システム開発・製造・販売事業



YEMエレテックス株式会社

放送機器の修理、保守

株式会社ワイ・イー・シー・リサーチ

2007年7月1日 社名変更

放送・映像システム保守事業



株式会社トラスティ・エンジニアリング

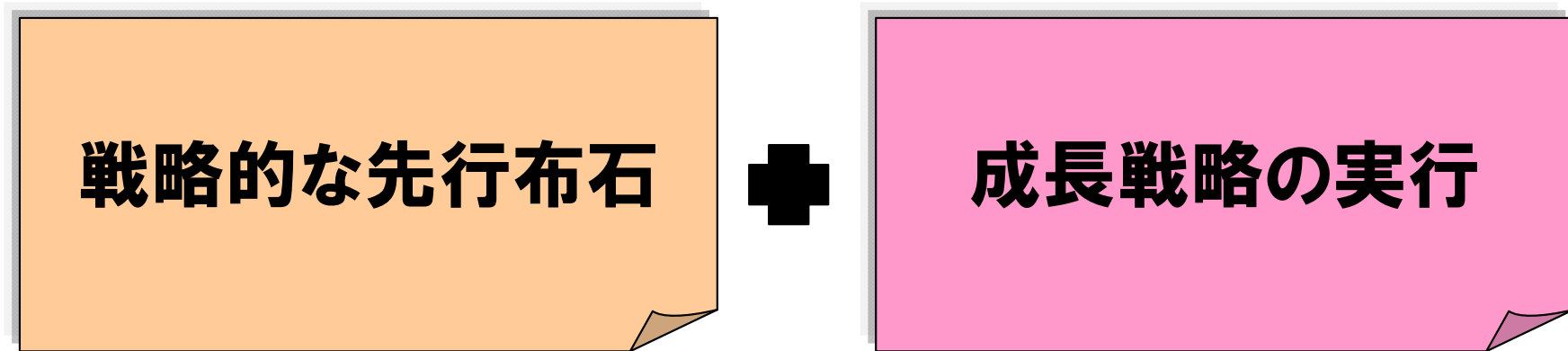
2-2. 会社・事業所 マップ



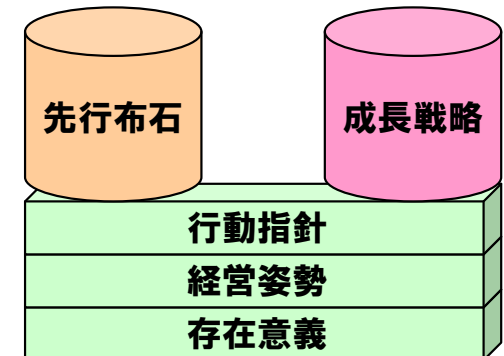
3. 平成20年3月期中間期 活動レビュー

3-1. 平成20年3月期の経営方針

中長期にわたり継続的成長を実現するために



今期は2006年1月に株式を取得した子会社3社が加わった連結経営の実質的な2期目になります。私たちは昨年の連結経営開始を「第二の創業」と位置づけ、グループとしての土台作りを強力に推進し、戦略的な先行布石を打ち、成長戦略を実行しております。



3-2. 戦略的な先行布石

～ 第1四半期のサマリー ～

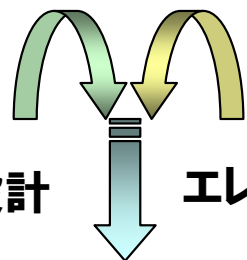


YEM



株式会社山下電子設計

エレテックス株式会社

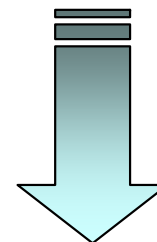


YEMエレテックス株式会社

～グループ再構築～

ハードウェアメーカ2社の
経営統合(合併)

株式会社ワイ・イー・シー・リサーチ



株式会社 トラストィ・エンジニアリング

～社名変更～

保守事業会社の社名変更
及び事務所移転

～ アstroデザイン様との協業強化 ～

出資比率を10%に引上げ、
同社の鈴木茂昭社長が当社の
社外取締役就任

デジタルメディアに対するハード・ソフトが
融合した強力なテクノロジー集団が誕生！



フライトグループ



アストロデザイン株式会社

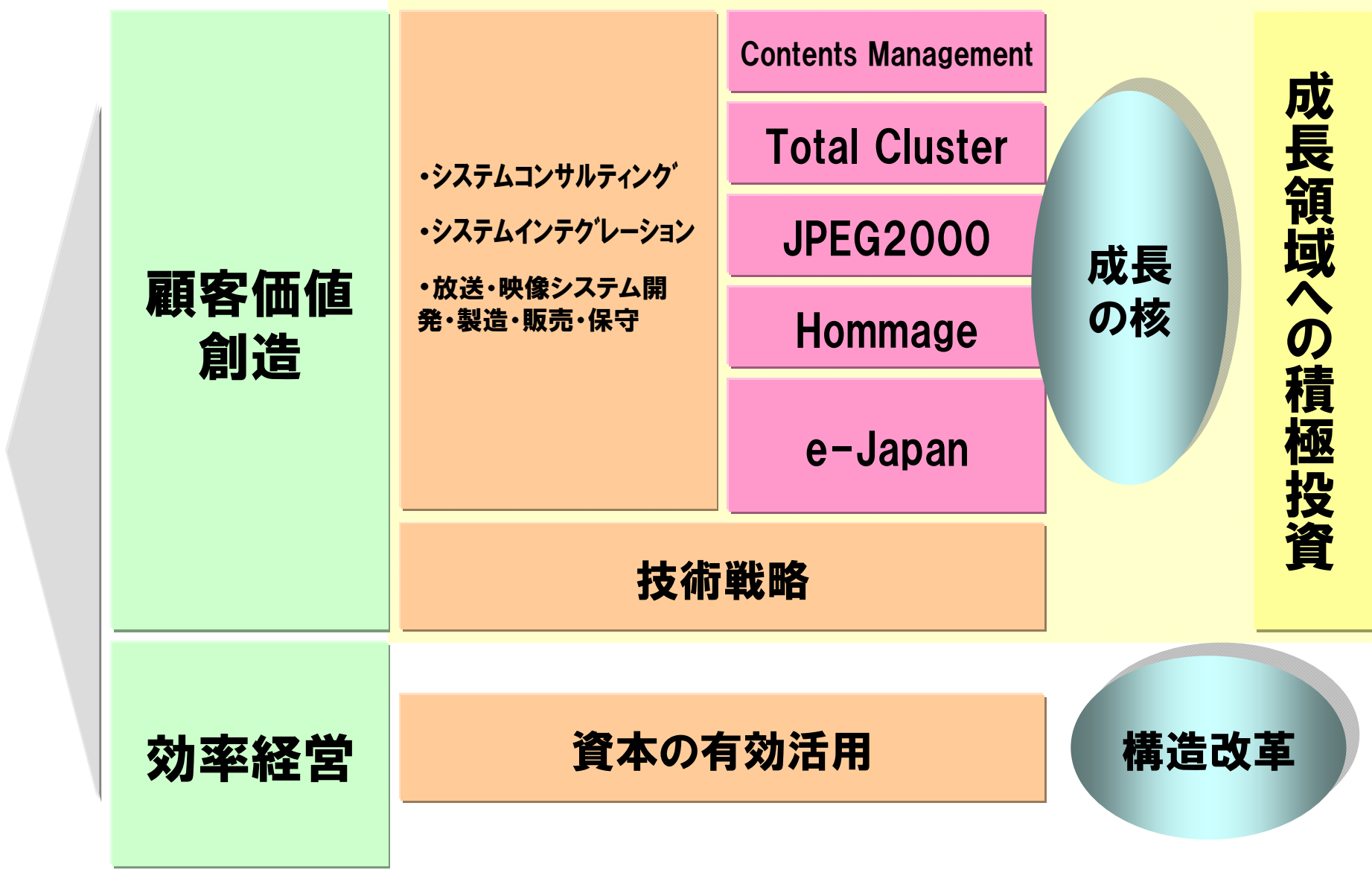
子会社の不動産を売却する事などにより、前期末に比較して有利子負債を4.4億円削減！

- YEMエレテックス・大阪本社の土地・建物、及び厚木に所持している賃貸物件(アパート)の売却を中心に、大幅な債務圧縮を実現。
- これらの努力により、有利子負債を 4.4億円、負債全体では合計で負債は、前連結会年度末と比べ4.9億円もの削減を実現！

※YEMエレテックスは大阪本社を売却していますが、売却先と賃貸借契約を締結し、売却後においても当該本社ビルを継続して使用しています。

3-3. 成長戦略

売上と利益の拡大



成長戦略の実行 ~ 第1四半期のサマリー ~



RBC

次世代の開発言語、Ruby をビジネスにつなげる業界団体『Ruby ビジネス・コモンズ(RBC)』を本年7月31日に業界各社と創設。

『e-Japan推進プロジェクトの拡大』
政令指定都市の情報システム再構築に関する5ヶ年に渡るプロジェクトマネジメントを受注。他の自治体への商談に向け、大きな実績。



JPEG2000 & Hommage

デジタルシネマ技術を
OEMに活用!



YEMエレテックス株式会社

JPEG2000・デジタルシネマ技術を応用。
大手メーカー向けOEMが出荷開始

e-Japan推進プロジェクト
順調に拡大

- その他...
- ◆ 千代田区役所様：
「統合事務管理システム」の運用保守を受
 - ◆ 宮城県様：
「工事管理システム」を開発!

成長戦略の実行

～ 佐賀県と次世代メディア技術活用に関して共同研究！～



- 佐賀県が募集した次世代メディア技術を活用した共同研究に当社の提案が採択されました！
- 佐賀県の市街地にFON社の無線ルータ(WiFi)を配備し、位置情報を利用してその地域に特化した情報を発信する予定です。
- 開発は、Rubyビジネスコモンズと提携して、最新の技術を利用しながら進めていきます。また端末には最先端のポータブルデバイスであるアップル社の iPod touch などを活用する予定！
- 地域情報発信による地域振興の実験として、既に多くのメディアや自治体関係者から注目を集めています。
- 当社の旧来からの事業の柱であったデジタルメディア技術と、昨年度から取り組み始めた電子自治体(e-Japan)系コンサルティングが融合する事により採択された案件です。大きな成果が出せるものと確信しております。

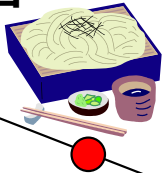
最先端のデジタルメディアを活用した 新しい情報発信の実証実験を実施！



おすすめワイン
ベリンジャー
1997
オーパスワン
2001



蕎麦懐石
佐賀亭



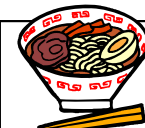
ワインバー
Vino de Saga



カリフォルニアキュージーヌ
Napa Garden



紀元前3世紀から
紀元後3世紀まで
の弥生時代は、日本
で稲作の文化が
始まり、.....



佐賀ラーメン
唐津軒



佐藤メガネ店

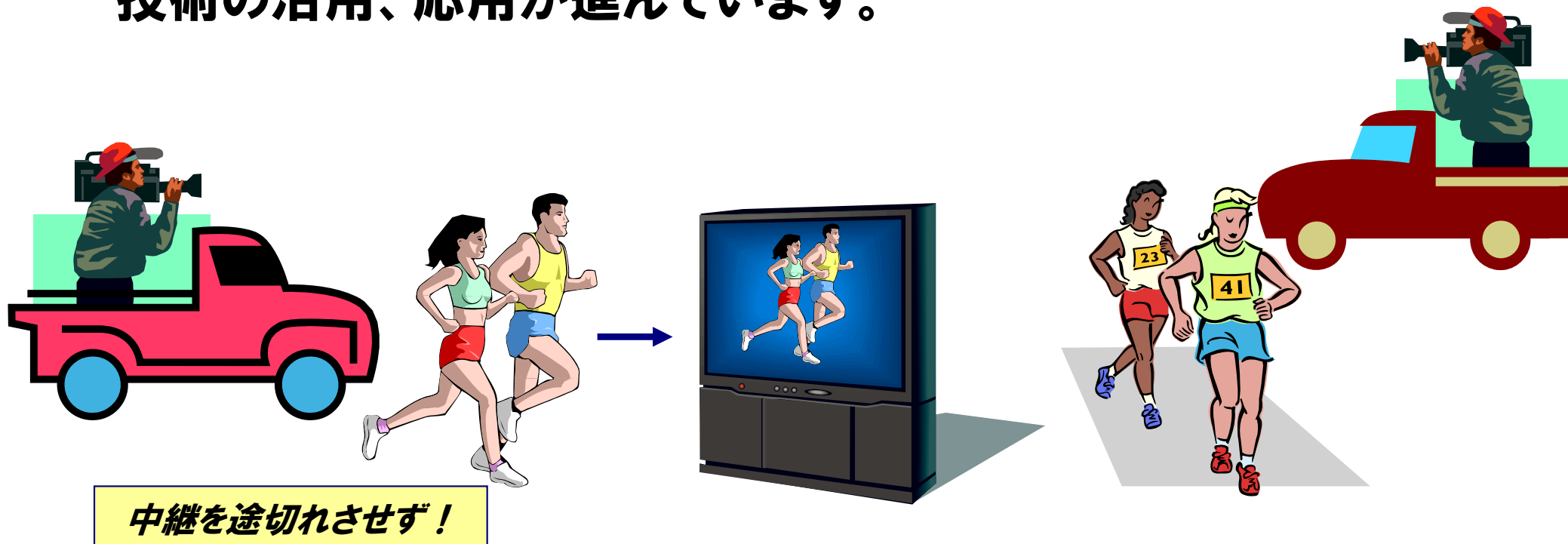


吉野ヶ里歴史公園

成長戦略の実行 ~ TBSが YEMエレテックスの TSスイッチャーを世界陸上2007大阪の中継機器として採用~



- 世界陸上2007大阪にて、マラソン中継にて途切れのない生中継の映像伝送用に、YEMエレテックスのTSシームレススイッチャーが採用されました。
- トリノオリンピック、ドーハのアジア大会など、様々な領域でこの技術の活用、応用が進んでいます。



成長戦略の実行

～オープンソフトによる電子自治体共通基盤システムを発表～

- 三井物産戦略研究所、野村総合研究所、電通国際情報サービスと共同でオープンソフトウェアによる『地域情報プラットフォーム準拠』の電子自治体共通基盤システムを提案と提供を進めています。



- **前期と比較し、売上、収益ともに大きく飛躍！**
- **戦略的な先行布石を打ち、かつ種々の成長戦略を遂行でき、今後の事業展開に向けての準備が整いました！**
- **当社のパワーだけで小さく留まるのではなく、業界各社と協業してさらに大きなビジネスを広げていける体制を整えました。**

4. 今後の展開について

4-1. 平成20年3月期 連結業績予想

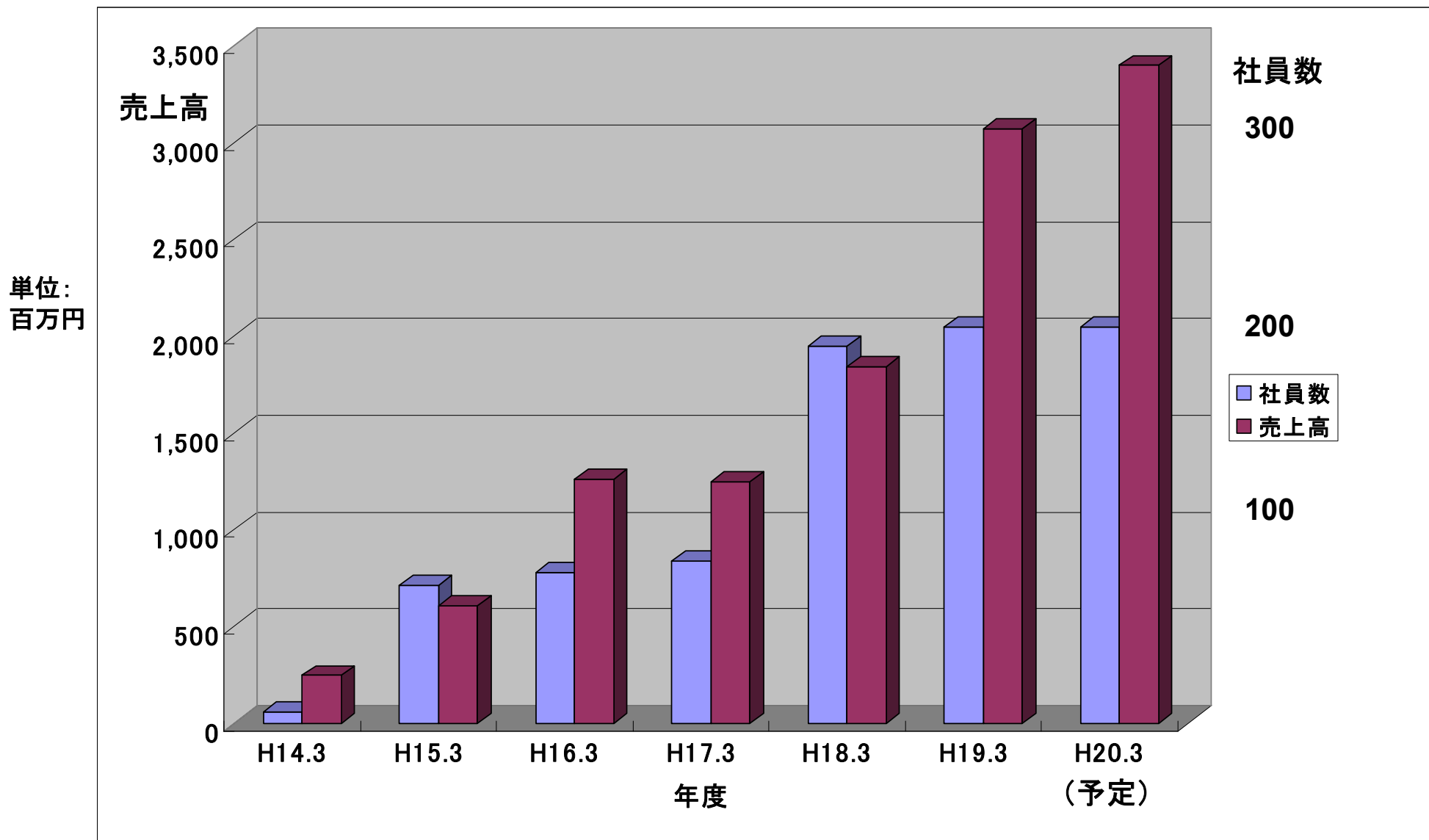


(単位:百万円)

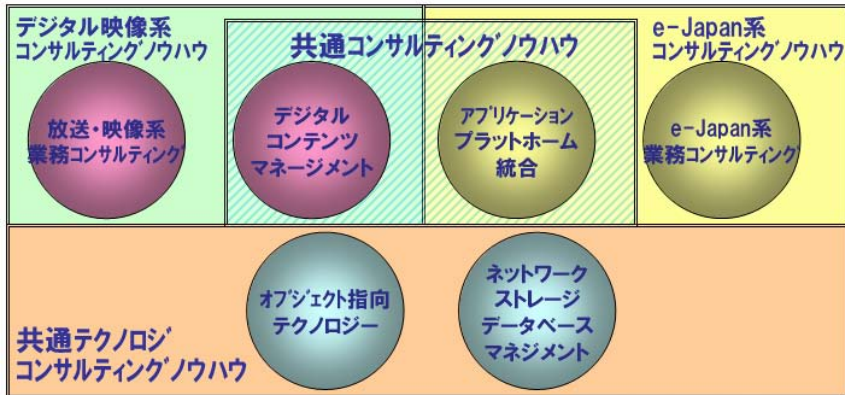
	平成19年3月期 (実績)	平成20年3月期 (計画)	
		金額	前期比
売上高	3,071	3,400	329
営業利益	△57	70	127
経常利益	△96	40	136
当期純利益	△176	5	181

業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成しており、実際の業績は予想と異なる場合があります。

4-2. 売上高と社員数の変遷



4-3. 新たな展開 ~ 第1四半期のサマリー ~



~ メディア系/e-Japan系の 組織統合 ~

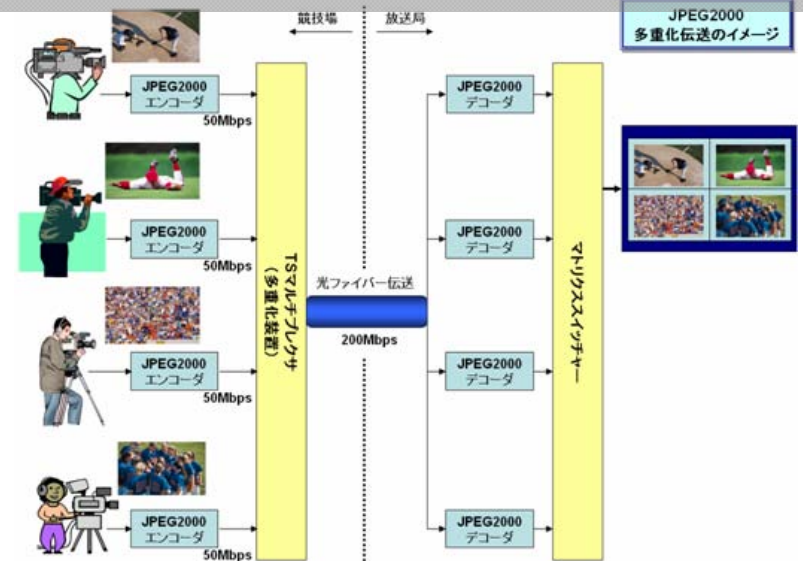
~ FLIGHT Total Cluster の拡販 ~

- ◆ 事例発表が続々と
 - 第一興商
 - 千代田区役所
- ◆ MIJS との連携
 - 参加各社のソフトウェアと連携

※MIJS : Made in Japan Software Consortium

Copyright © 2007 FLIGHT SYSTEM CONSULTING Inc. All rights reserved

~ JPEG2000による映像多重化伝送 ~



~ デジタルシネマ Homamge の展開 ~



デジタルシネマを
皆様の街へ!!

第21回福岡アジア
映画祭に協賛



FLIGHT SYSTEM CONSULTING Inc.

イーシー・ワンとの業務提携発表！



- 2007年11月15日、株式会社イーシー・ワンとの業務提携を発表致しました。
- 両社は永年にわたり Java に特化した開発を行ってきており、技術ノウハウやコンサルティングノウハウを共有することで、双方にとってより一層の付加価値の高い事業が出来ることを目指してこの提携を推進してまいります。



事業・収益としての
付加価値向上
株主価値としての
付加価値向上

YEMエレテックスが InterBEE 2007へ出展

Inter BEE 2007
International Broadcast Equipment Exhibition

FLIGHT

<http://www.inter-bee.com/ja/>

- 2007年11月20日～22日、幕張メッセにて放送・映像業界最大の展示会、InterBEE 2007が開催されます。
- YEMエレテックスは、従来から取り組んできた「ブロードキャストにおける取材・収録・伝送」をテーマに掲げ、今まで培ってきた技術の集大成を展示致します。
- また、既に放送現場での試用が開始されている「取材現場から迅速に取材映像を本局へ伝送するためのIP伝送のソリューション」についても展示致します。



第2回 MIJSカンファレンスへ参画！



- 日本のパッケージソフトウェアを世界に広めようという業界のコンソーシアム「MIJS」主催のカンファレンスが11月29日、目黒雅叙園で開催されます。
- この場で当社は、MIJS参加の株式会社ビーエスピー、株式会社アプレツソと協業し、これらの会社のソフトウェアとの統合したソリューションを講演にて発表予定。
- 今後もMIJS加盟各社との協業を推進し、当社の FLIGHT Total Cluster を中心としたソフトウェア製品ビジネスの拡大に努めます。



第2回 MIJSカンファレンス

<http://mijs.smartseminar.jp/public/seminar/view/3>

FLIGHT Total Cluster の新たな展開！



- MIJS加盟各社のソフトウェアとの連携のほか、新しい独自のソリューションも発表していきます。
- 近日、加盟各社との連携をより強固にする新しいソリューションを発表する予定です。ご期待下さい。

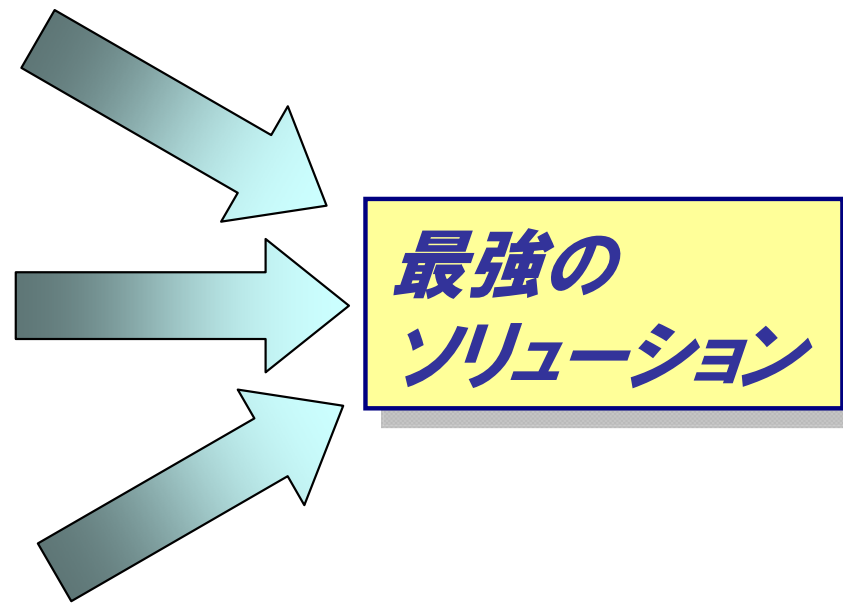
FLIGHT Total Cluster Ver. 2.0

+

新しい当社独自のアプリケーション

+

MIJS加盟各社のアプリケーション



5. 結び

～ コア技術と独創的なソリューションをお客様へ ～



お客様

コンサルティングサービス

業務ノウハウ

画像圧縮ソリューション
JPEG2000

画像伝送ソリューション
TSシームレススイッチャー

画像変換ソリューション
スキャンコンバータ

映像

高可用性ソリューション
Total Cluster

デジタルシネマソリューション
Hommage (オマージュ)

セキュリティソリューション
Decru DataFort

コンテンツ管理ソリューション
FLIGHT Contents Manager

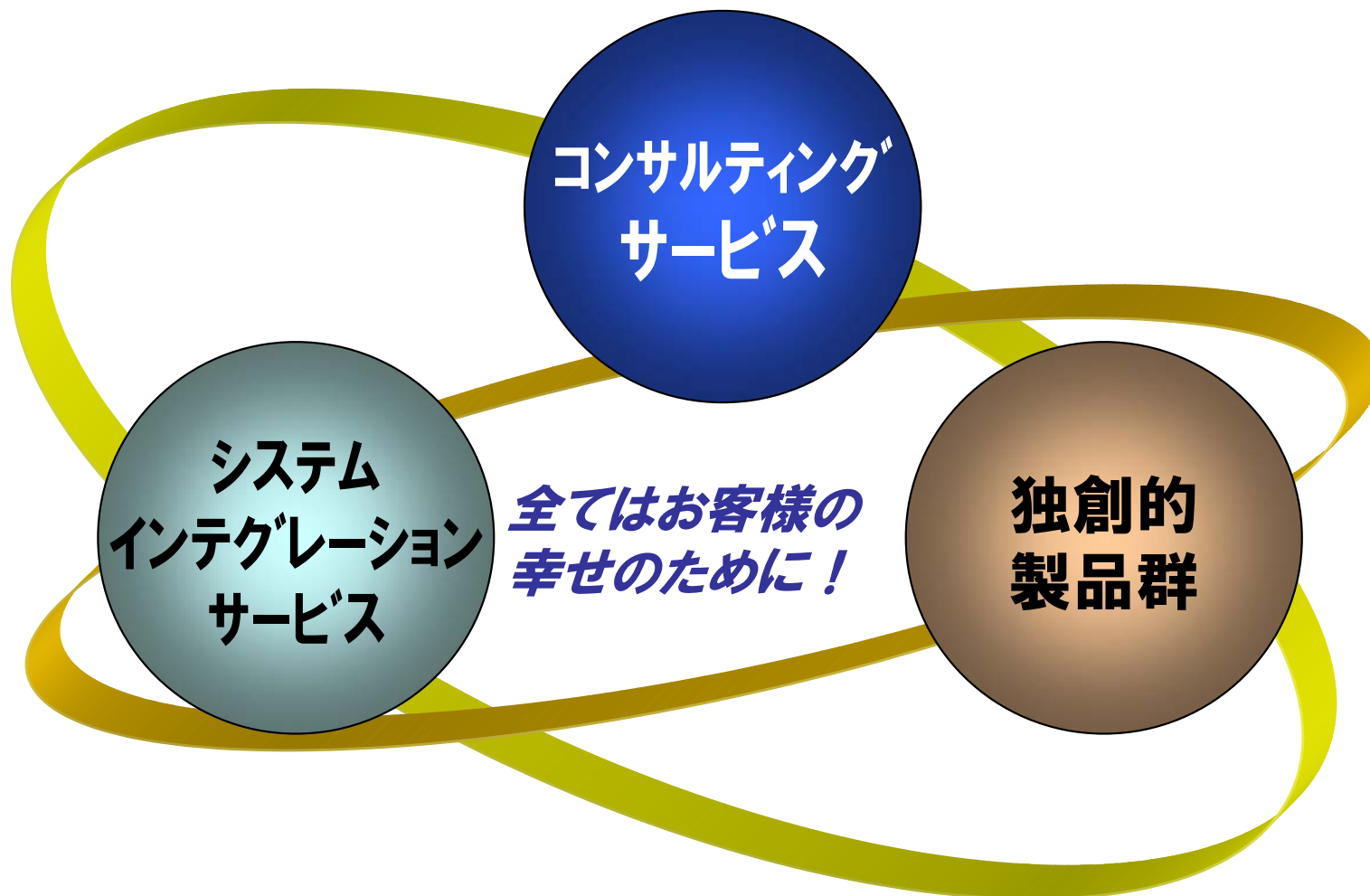
データベース
ネットワーク
オペレーティングシステム

オブジェクト指向開発

～ そして、総合力でお客様に幸せを！ ～



テクノロジーカンパニーから
テクノロジーサービスカンパニーへ！



お問い合わせ

- **IRならびに本資料に関するお問い合わせ**
 - **IR責任者:** 取締役 松本 隆男
 - **IR担当者:** 金(こん) 浩樹
 - **E-Mail:** info@flight.co.jp
 - **電話:** 03-3440-6100
 - **ホームページ:** <http://www.flight.co.jp>

本資料について

本資料は、平成20年3月期中間決算の業績について情報提供することを目的としたものです。本資料は、平成19年11月15日現在のデータに基づいて作成しております。本資料に記載した予測値や情報は、資料作成時点の当社の判断です。情報の正確性、完全性を保障するものではありません。また、今後予告なしに変更することがあります。